



かけはし

第19号 : 2004 12 / 1

編集発行 / 仁賀保町・金浦町・象潟町合併協議会 TEL (0184) 32 - 3515・FAX (0184) 32 - 3517
<http://www.nkk-gappei.jp/> E-mail: info@nkk-gappei.jp



協議会再開

目次

| | |
|-----------------|-----|
| 協議会の報告..... | 2・3 |
| 象潟町復帰までの経緯..... | 4 |

11月19日に第19回合併協議会が開催されました。三町そろっての協議会は、昨年8月8日の第15回合併協議会以来、15カ月ぶりになります。

第十九回

合併協議会

十一月十九日

金浦町勤労青少年ホーム



昨年八月の第十五回合併協議会以来、十五カ月ぶりに三町の委員がそろって合併協議会が開催されました。象潟町の新委員七人に巴会長が委嘱状を交付し、その後、三町長によるあいさつと全委員による自己紹介が行われました。

報告

報告第二十五号

平成十五年度合併協議会決算報告について

歳入決算額一千八百三万三千四百三十三円、歳出決算額九百八十四万八千九百四十三円、差引残額八百十八万四千四百九十円の平成十五年度決算について報告しました。

報告第二十六号

平成十六年度合併協議会補正予算について

歳入、歳出それぞれ三百四十四万八千円を増額する補正予算について報告しました。

主な内容は、歳入では象潟町からの負担金百八十万円、平成十五年度からの繰越金百六十四万八千円、歳出では協議会開催や事務費などの運営費二百二十六万四千円、かけはし発行と協議会議事録作成委託料の事業費四十八万八千円などです。

これらは、合併協議の再開による経費の増加であり、象潟町からは相当分を負担していただくものです。

巴会長（仁賀保町長）あいさつ

存続休止状態の合併協議会が、象潟町の復帰により協議を再開できることは誠にうれしいことです。

象潟町から申し入れがありました。事項についても、再協議することを第十八回の協議会で全会一致で確認し、十月二十五日に正式文書で協議会復帰の申し入れを受けまして、十一月一日付けで事務局体制を整えました。

協議会の委員としての責任と使命を十分考え、三町合併の目的達成のために協議を重ねまして、地域住民の皆さんの期待に応えるように努力してまいりたいと思います。

佐々木副会長（金浦町長）あいさつ

私どもは、象潟町から協議会離脱の申し入れがあつてからも、この三町の枠組みを壊さず、必ずや再協議に応じたいと確信してまいりました。合併は、今までの制度や慣行を変えることの戸惑いもありますが、新しい時代にしつかりと基盤を整えるという意味で、積極的に取り組まなければならぬと考えています。

限られた時間ですが、今までの時間の経過を無駄にすることなく、住民が喜んで合併に賛成し、明日への希望が大きく持てるような協議を一体となつて進めてまいりたいと思います。

横山副会長（象潟町長）あいさつ

今日から、新たな「ふるさと」の建設を目指して、皆さんと一緒に協議が再開できますことを、大変うれしく思っています。

そして、私の申し入れであります新市の名称と本庁舎の位置について、再協議していただくことにご理解をいただきました。心から感謝を申し上げます。



それぞれの町の現状は、人口の減少や少子高齢化社会が加速的に進む状況にあり、又、国からの財政支援は、今後更に削減される状況にあります。

私は、歴史的に、そして町民の日常活動で、大きなつながりのある三町が合併し、行財政基盤を強化しながら人材育成などを進め、様々な課題に取り組んでいくことが、将来に向けて更に活力のある「ふるさと」

づくりにつながって行くものと考え
ております。

そして、この三町合併は、十万人
規模の都市にも負けないくらいの力
を發揮し、そしてキラリと輝く事
のできる地域であると考えております。
これまでのことを考え合わせます
と、仁賀保町や金浦町の各委員の皆
さんには、さまざまな思いもある
かと思えます。

しかし、今大切なことは、どのよ
うな方向性、あるいは理念を持って、
新しい「ふるさと」を建設し、次の
世代に引き継いでいくことができる
かだと思います。わだかまりやしこ
りを持って合併しても、合併の効果
は期待できません。

合併は手段であって、目的は安心
して生活のできる、そして夢や希望
の持てる活力のある地域社会を形成
することにあります。

そのために、これまで以上の信
頼関係と互譲の精神を發揮し、三町
の多くの皆さんが納得のできる協議
結果にすることが最も大切でありま
す。

今回、合併協議会に復帰するにあ
たり、町民アンケートを実施し、五
十二・六%の町民が合併協議会への
復帰を選択しましたが、の中には
「協議結果が同じであれば合併に賛
成できない」という意見が多数寄せ
られたことも事実です。

私は、このことを重く受け止め、
合併協議会再開にあたり、もう一度
合併の理念をしっかりと打ち立てなが

ら、これを委員の共通の認識として
話し合っていたきたいと思います
仮に、今回の協議で合併が実現で
きなかつた場合、私は将来におい
ても三町の枠組みは無いと思ってい
ます。それでは、将来に大きな悔い
を残すことになりません。又、将来を担
う次の世代の皆さんに大変申し訳な
いと考えます。子孫の代に誇れる合
併を、勇気と自信を持って成し遂げ
ることが、今を預かる私たちの務め
であると思えます。

そのために、徹底した話し合い
の中で知恵を出し合いながら、最良
の協議結果になるよう皆さんと共に
頑張つてまいりたいと決意している
ところであります。

各町委員の自己紹介から

三町の信頼関係を築き、きちんと
した話し合いの上で、合併を目指
したい。

希望あふれる新しいふるさとづく
りに努力していきたい。

新たな気持ちで、合併がうまくい
くよう努力したい。

新しい市を誕生させ、将来につな
げていくといくことを常に念頭に
協議に参加していきたい。

豊かさや幸せを実感できるまちづ
くりのためには、三町合併が必要
と考えている。

目指すところは、今以上に輝きを
発することができる地域づくりだ
と思っている。

象潟町の 新委員



須田 美佐子さん



佐々木 正明さん



榊原 均さん



須田 壽夫さん



塚田 龍明さん



齋藤 喜也さん



佐々木 郁子さん

象潟町復帰までの経緯

8月31日 第18回合併協議会

象潟町から申し入れのあった下記3項目について協議しました。

1. 合併協議は、理念を明確にし、前向きな協議ができる環境づくりが可能であること。
2. それぞれの町単位に、合併後、どのような地域づくりを進めるのか、新市の建設計画に明記すること。
3. その上で、新市の名称と本庁舎の位置を再協議すること。

全会一致で申し入れを了承し、新市の名称や庁舎の位置などについて再協議することを確認しました。

同日 協議会から象潟町に申し入れを了承する旨の報告

10月5日 象潟町 町村合併アンケート集計

設問

象潟町は、平成15年10月1日に実施した「町村合併アンケート」において、6,310人、67.74%の方が「単独立町」を選択した結果に基づいて、合併協議会を離脱して象潟町単独を目指していましたが当町の申し入れに従い、合併協議会から「新市の名称」「新市の事務所の位置」等について再協議するとの意向が伝えられております。

そこでお伺いします。(いずれか1つに 印をつけてください。)

1. 基本的には合併は推進すべきなので、町の申し入れについて再協議することであれば、合併協議会に復帰すべきである。
2. すでに「単独立町」を決断し、その方向で行動しているのだから、このままで行くべきである。
3. わからない

| | | |
|-------|------------|----------------|
| ・回収総数 | 10,124 | (回収率94.80%) |
| ・有効数 | 9,885 | (有効率97.64%) |
| 有効内訳 | 1. 合併協議会復帰 | 5,200 (52.60%) |
| | 2. 単独立町 | 3,831 (38.76%) |
| | 3. わからない | 854 (8.64%) |

10月22日 象潟町臨時議会
13対2の賛成多数で合併協議会復帰同意案を可決

10月25日 象潟町より協議会復帰の申し入れ

合併協議会の協議内容をご覧ください。

会議資料と会議録は、各町役場企画課・図書館(室)で閲覧いただけます。また、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.nkk-gappei.jp/>

次回協議会の開催は
未定です。

決定次第、各町広報、協議会だより、協議会ホームページでお知らせします。